



# Daiwabo Holdings Co., Ltd.

第110期 中間ビジネスレポート  
2020年4月1日～2020年9月30日



## ご挨拶

このたびは、株主、投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様にご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

再発防止策の確実な実施により、ステークホルダーの皆様の信頼回復のために、グループを挙げて全力で取り組んでまいります。

当社は、コーポレートガバナンスを経営上の最重要課題の一つであると認識し、グループ各社の経営管理を強化するとともに、監査体制の充実によりグループ全体の経営効率の向上とガバナンスの徹底を図ることを経営の基本方針としております。しかしながら、今般、繊維事業のグループ会社において、不適切な取引が行われていたことが判明し、当社は特別調査委員会を設置して調査を進めてまいりました。

当社としましては、二度とこのような事案を起こさぬよう、特別調査委員会からの提言を真摯に受け止め、実効性のある再発防止策を確実に実行するとともに、あらためてグループガバナンス体制の強化に取り組んでまいります。

## 業績について

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、企業業績が低迷し設備投資が減少するとともに、雇用・所得環境も悪化を余儀なくされ個人消費が低迷しました。

このような状況において、当社は今年度の事業方針である「リーディングカンパニーとして更なる高みへの挑戦」「持続的発展に向けた成長ドライバーの創出」「たゆまぬ変革による高効率経営の追求」のもと、社会構造の変化に果敢に挑戦し、グループの成長戦略を推し進め、連結企業価値の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は4,245億3百万円、営業利益は108億53百万円、経常利益は110億52百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は88億3百万円となりました。

## 今後の見通しと取り組み

2021年3月期の見通しといたしましては、新型コ

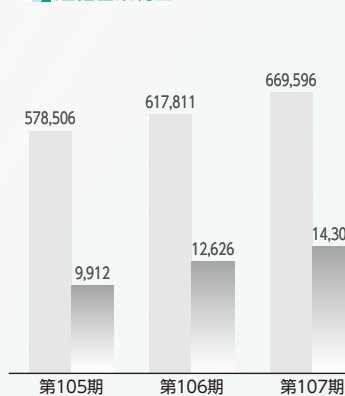
ダイワボウホールディングス株式会社  
代表取締役社長

西村 幸浩

## 中期経営計画の進捗状況

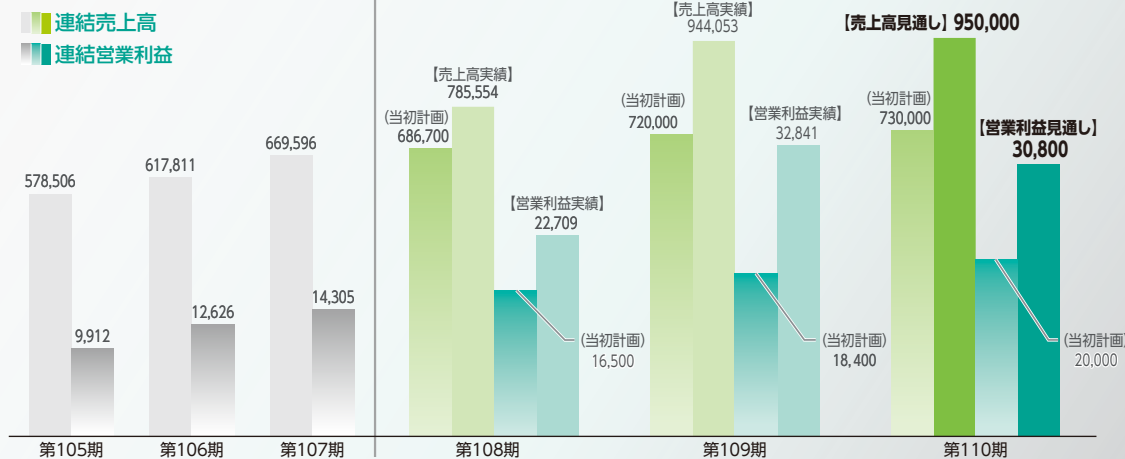
イノベーション21第二次計画(実績)

■ 連結売上高  
■ 連結営業利益



## イノベーション21第三次計画

(単位:百万円)



ロナウイルス感染症の影響が不透明な状況ではありますが、テレワークをはじめとした新たな働き方を実現するための設備投資や、文教分野におけるICT環境整備に伴う機器導入など、新たな需要を的確に捉えることで、売上高9,500億円、営業利益308億円を計画しております。

中期経営計画「イノベーション21」第三次計画の最終年度である当期は、総仕上げとしての計画達成はもとより、新体制のもとで当社グループの2020年代をデザインする1年であり、各事業会社が一丸となってグループ全体の新たな成長軌道の構築を目指す必要があります。

そのため、それぞれの事業領域で発揮している各事業の“強み”をさらに伸ばしていくとともに、ESG(環境・社会・ガバナンス)に配慮した企業活動を充実させ、これまで培ってきた経験と組織力を活かして、新たなビジネスモデルや商品・サービスの開発に取り組むことで、将来にわたり発展を遂げるための原動

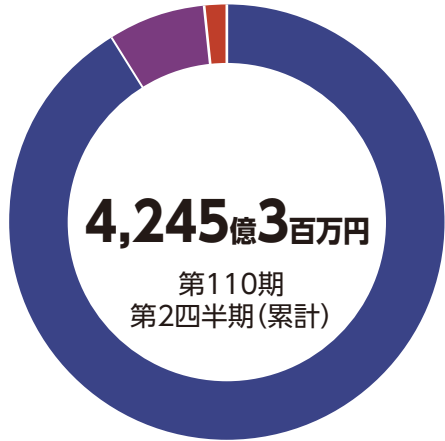
力を生み出してまいります。

さらには、経営基盤の強化と企業価値の向上により、すべてのステークホルダーにとって魅力のある会社を目指し、次の時代に向けて、幅広い社会貢献とさらなる業績拡大を実現するためのストーリーを描き、新たな発想で事業の可能性を拓ける成長戦略を実行していく所存です。

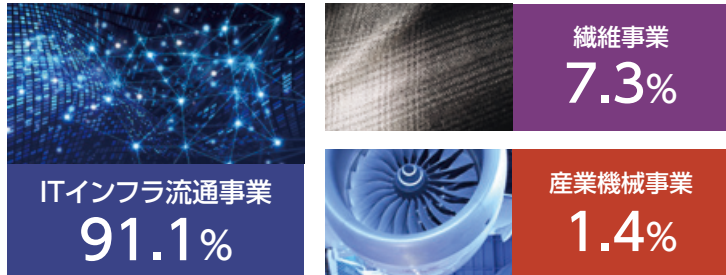
なお、2021年3月期の配当予想につきましては、通期業績見通し及び財務状況等を総合的に勘案し、1株当たり期末配当金を前期の160円より40円の増配となる200円に予定しております。

また、当社は、投資家層の拡大と株式の流動性の向上を図ることを目的として、2021年4月1日を効力発生日とし、普通株式1株につき5株の割合をもって株式分割を実施いたします。

株主の皆様には引き続き倍旧のご支援とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。



売上高構成比



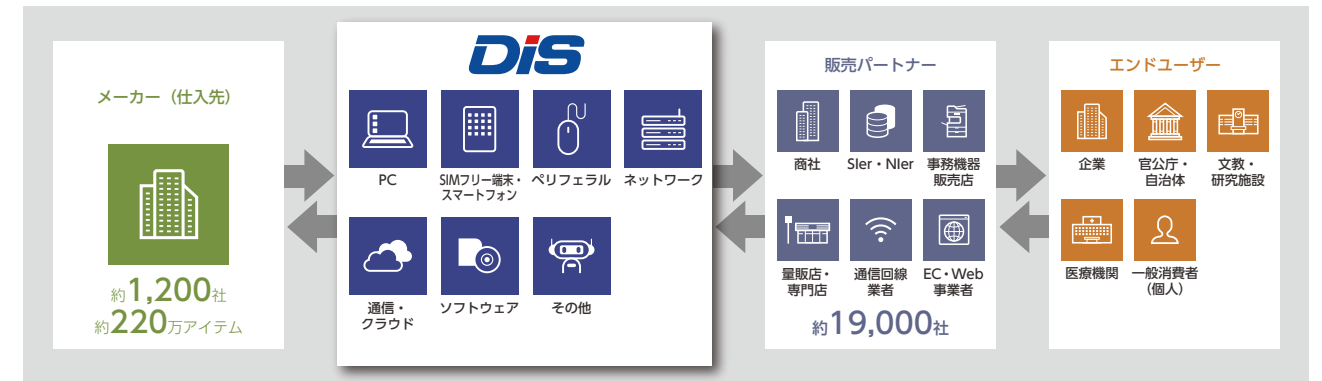
ITインフラ流通事業	ディストリビューション	ダイワボウ情報システム(株)	
	サービス&サポート	ディーアイエスサービス&サポート(株)	
	ソリューションサービス	ディーアイエスソリューション(株)	
繊維事業	合織・レーヨン	大和紡績(株)	ダイワボウレーヨン(株)
	産業資材		カンボウプラス(株)
	衣料製品		ダイワボウアドバンス(株)
産業機械事業	工作機械	(株)オーエム製作所	
	自動機械	(株)オーエム機械	
	鑄造・加工・組立	オーエム金属工業(株)	

## ITインフラ流通事業

### 国内最大級のディストリビューターとしてIT環境をトータルにサポート

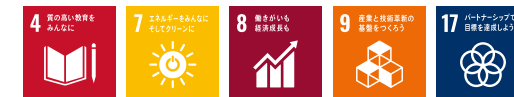
ITインフラ流通事業は、ダイワボウ情報システム(DIS)グループが運営する事業です。DISは独立系マルチベンダーとして、お客様のニーズに合わせて最適なソリューションを提案し、世界中のIT関連商品・サービスをあらゆる組み合わせで提供しています。どの地域のお客様にもFace to Faceできめ細やかに対応できるよう、日本国内をカバーする営業拠

点と物流拠点を展開。全国の販売パートナーを通じて、民間企業や官公庁・自治体、学校、医療機関、一般消費者など、幅広く利用されるIT関連商品をお届けします。時代の変化に即応しながら、万全のサービス&サポートで、多様化・高度化するニーズに応え続けていきます。



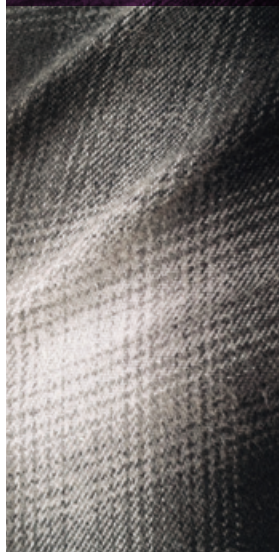
#### 事業を通じた社会課題解決への貢献機会

- 全国の営業拠点網によるIT化推進の取り組み
- 教育の情報化に向けた取り組み
- サブスクリプション管理ポータル「iKAZUCHI(雷)」での新たなビジネス共創の場の提供



「iKAZUCHI(雷)」は、DISが提供するサブスクリプション管理ポータルです。サブスクリプション型(継続課金型)ビジネスは、低コストで最新サービスが利用できるため、幅広い分野で普及・拡大が見込まれています。販売パートナーは「iKAZUCHI(雷)」を利用することで、クラウドサービスを中心としたサブスクリプションビジネスにおける注文工数が削減され、年額・月額・従量制などの様々な継続型契約や、ユーザー情報の一元管理が可能になります。

## 繊維事業



### 衣料・生活用品から産業資材まで高付加価値を追求する繊維メーカー

素材としての用途の広がりや循環型社会への対応など、多様な可能性を持つ繊維の事業フィールドで、研究開発に力を入れ、サステナビリティに配慮した素材や機能性・独自性のある素材を活かした高付加価値な商品を生み出しています。衣料品のほか、紙おむつの材料といった生活資材から建設現場の防水シートなど産業資材まで取り扱い分野は幅広く、その提供形態も原綿や不織布、最終製品まで多岐にわたります。

#### 事業を通じた社会課題解決への貢献機会

- 生分解性繊維など環境負荷低減に貢献する商品開発
- カセイソーダ不使用の染色加工技術など水使用量の削減、環境負荷低減のプロセス開発



## 産業機械事業



### あらゆる業界の製造機械に変革をもたらす「匠の精鋭技術集団」

航空・宇宙分野をはじめ、あらゆる産業のマザーマシンとして活躍し、長年にわたる技術・技能の伝承により厚い信頼を得ている「立旋盤」や、鉄道の安全と乗り心地を支える「車輪旋盤」などの工作機械と、食品や製薬などの幅広い業界で活躍する自動梱包機を主に製造販売しています。時代を先取りし、独創性を持って、高い技術力が生み出す高精度な機械を提供することで、多様化するユーザーニーズに確実に応えていきます。

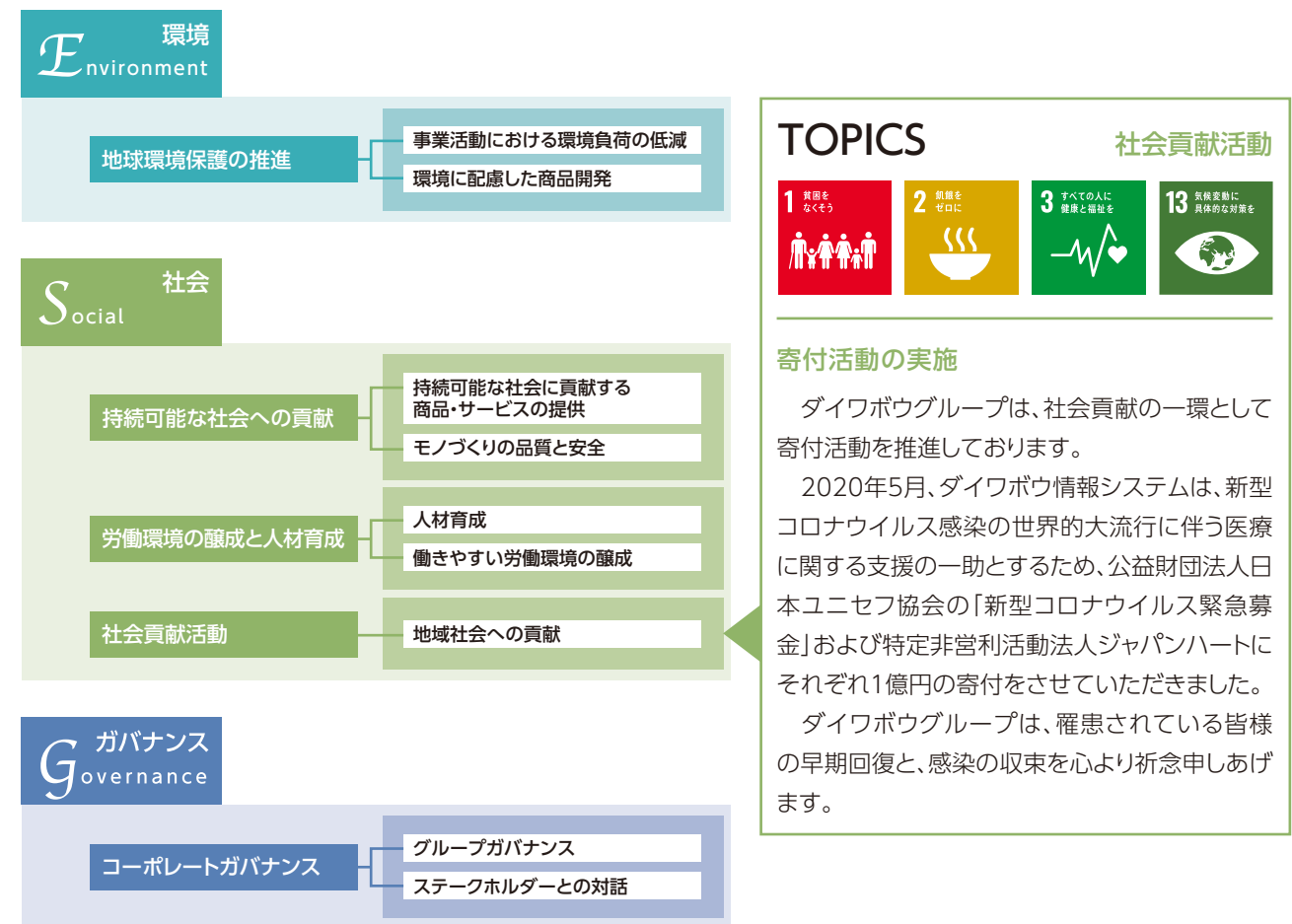
#### 事業を通じた社会課題解決への貢献機会

- 航空機エンジンやエネルギー分野向けなどの部品、鉄道車輪メンテナンス用の工作機械を通じてモノづくりの技術と品質を提供



## ダイワボウグループのESG

ダイワボウグループは、基本姿勢、存在意義、価値観を表明した「グループ経営理念」、「グループ企業行動憲章」を制定しており、ESGに関する考えもこれらの中にも含まれています。グループとして全てのステークホルダーとともに、【地球環境】との調和を図りながら、豊かなより良い【人間社会】を築くことが私たちの使命です。私たちはグループ経営理念、企業行動憲章のもと、【お客様第一】を経営の根幹に、環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance) (以下「ESG」といいます。)への配慮が企業価値向上に資するものと考え、ESG活動を「サステナビリティ・アクション」としてグループ全社において持続的な成長を遂げるため取り組んでまいります。



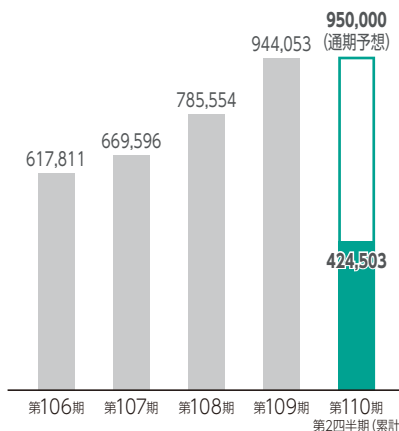
# 連結業績ハイライト

# The 10th

2020.4.1 ▶  
2020.9.30

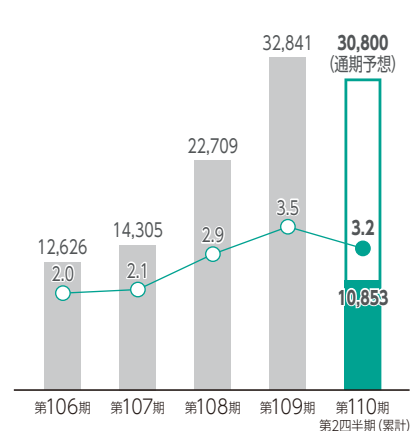
## 売上高 (百万円)

**4,245億3百万円**  
前年同期比 10.1% 減 ↓



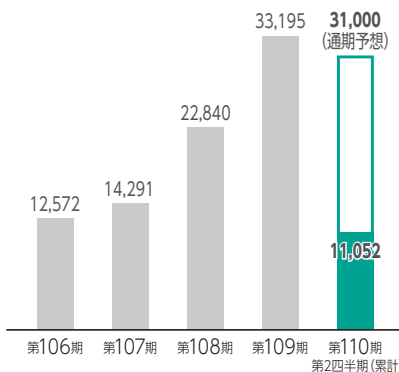
## 営業利益 (百万円) ● 営業利益率 (%)

**108億53百万円**  
前年同期比 31.4% 減 ↓

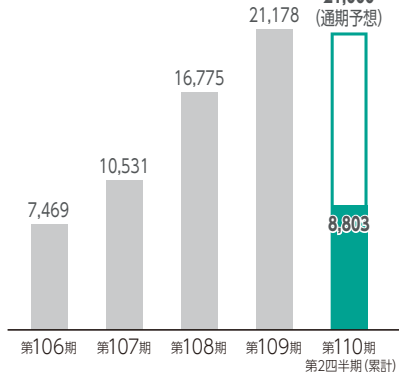


## 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)

**110億52百万円**  
前年同期比 30.3% 減 ↓

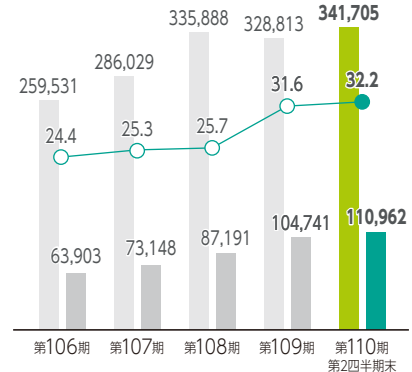


**88億3百万円**  
前年同期比 17.0% 減 ↓



## 総資産 ● 純資産 (百万円) ● 自己資本比率 (%)

**自己資本比率 32.2%**  
前期末比 0.6pt 増 ↗

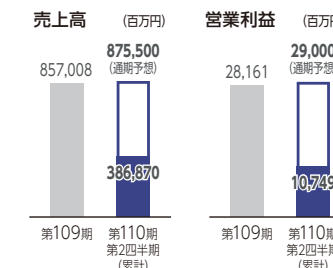
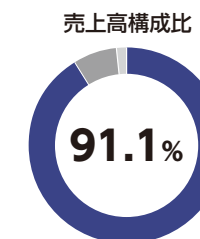


## 事業別概況

### ITインフラ流通事業

**売上高**  
**3,868億70百万円**  
前年同期比 9.4% 減 ↓

**営業利益**  
**107億49百万円**  
前年同期比 18.9% 減 ↓

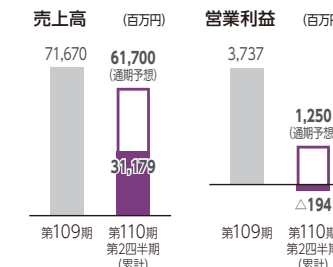
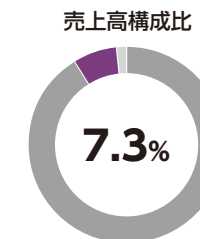


前期までのWindows7サポート終了に伴う更新需要の反動が見られたものの、テレワーク需要によりノートPC・液晶モニタ等の関連商材について個人向け市場を中心に販売が増加するとともに、文教分野も全国的に売上が拡大しました。

### 繊維事業

**売上高**  
**311億79百万円**  
前年同期比 17.2% 減 ↓

**営業損失**  
**1億94百万円**  
前年同期 21億42百万円の営業利益

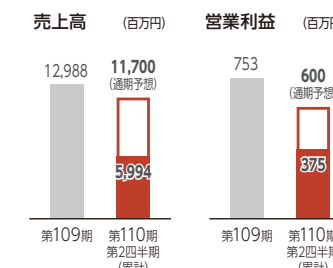
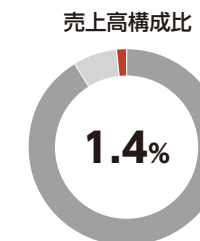


コスメ関連や重布製品、衣料品等は需要減少により販売が低迷しましたが、除菌関連向けの商品は大幅に伸長しました。  
※不適切な取引に関して、当期の繊維事業セグメントの売上高640百万円を取消しており、これに当期の売上原価と過年度の累計損益の影響を折り込むと営業損失は1,994百万円減少しております。

### 産業機械事業

**売上高**  
**59億94百万円**  
前年同期比 7.9% 減 ↓

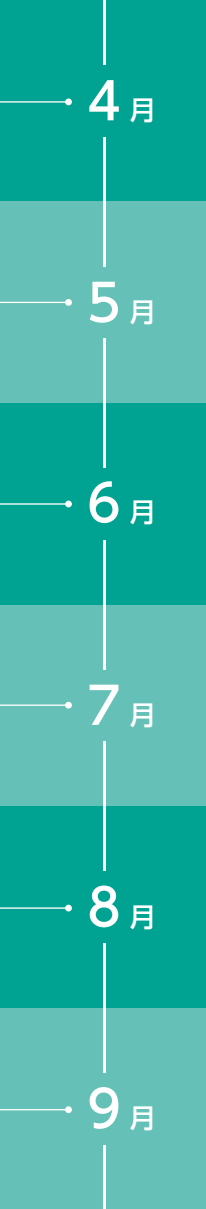
**営業利益**  
**3億75百万円**  
前年同期比 3.8% 減 ↓



顧客における設備投資の停滞・計画延期や移動制限などの影響を受けて売上が減少しました。

# 2020年

- 04.08**  
ダイワボウ情報システム、HYCUのバックアップサービスを6月30日まで無料提供
- 05.12**  
ダイワボウ情報システムとジュニパーネットワークス ミストシステムズ製品のディストリビューター契約を締結
- 05.27**  
ダイワボウ情報システムによる医療関係への寄付について
- 06.01**  
ダイワボウ情報システム、販売パートナー独自サービスの代金回収代行を開始
- 06.11**  
ダイワボウ情報システム、開発系パートナーおよびソリューションベンダー向けDX開発支援を本格化
- 06.23**  
ダイワボウ情報システム、Microsoft Azureユーザーのサイバーリスク保険を追加料金なしで付帯
- 06.29**  
ダイワボウレーヨン、ドイツ・ケルハイムファイバースとの協力について
- 07.01**  
ダイワボウ情報システム、Amazon Web Servicesとパートナー契約を締結
- 07.01**  
ダイワボウ情報システム、DIS「おてがる遠隔授業パック」の提供とモニター校の募集を開始
- 07.29**  
ダイワボウ情報システムがMicrosoft Azureの専門組織設立
- 08.25**  
大和紡績 新ロゴマークの制定について
- 09.30**  
当社連結子会社における不適切な取引の発生および特別調査委員会の設置について



**Pick Up 1** 「DIS Azure サイバーリスクサポート」の提供を開始

ダイワボウ情報システム(DIS)は、「Microsoft Azure」を利用している顧客のシステムに障害や不正アクセス等のサイバー攻撃が発生した場合に、損害・対応費用等を補償するサイバーリスク保険を標準サービスとして販売先に提供いたします。本サービスを通じてDISは全国のお客様に安心してクラウドを活用していただくための支援をしております。

**Pick Up 2** 初めて遠隔授業を行う先生方も Web授業を簡単に実践

DISはインテルと連携し、「おてがる遠隔授業パック」を提供しています。遠隔授業に必要なPCやカメラなどの周辺機器と、それら機器のセットアップから簡単な教材制作や配信方法までの解説動画をセットにした商品です。DISは、より多くの地域・学校におけるオンライン教育の環境整備を推進してまいります。

**Pick Up 3** 大和紡績 未来志向でロゴマークを新たに制定

繊維事業の大和紡績は、将来を見据えた事業体制の構築を図るため、2020年4月1日に合繊、産業資材、衣料品などを扱う子会社を合併し、生まれ変わりました。新生大和紡績は、新しいロゴマークのもと、ファイバー戦略とサステナブル経営に取り組んでまいります。



## 会社概要

(2020年9月30日現在)

社名 ダイワボウホールディングス株式会社  
 資本金 21,696,744,900円  
 創立日 1941年4月1日  
 事業拠点 **本社**  
 大阪市中央区久太郎町3丁目6番8号  
 御堂筋ダイワビル (〒541-0056)  
 TEL.06-6281-2325

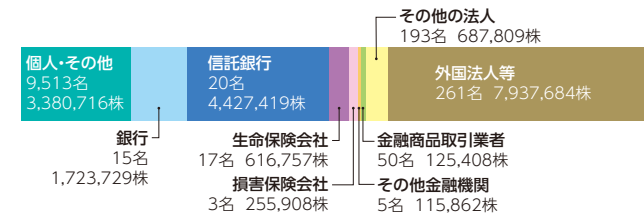
連結従業員数 5,806名

代表取締役社長	西村 幸浩
代表取締役専務取締役	有地 邦彦
常務取締役	辰巳 敏博
社外取締役	土肥 謙一
社外取締役	中村 一幸
常勤監査役	平岡 好信
常勤監査役	小野 正也
社外監査役	藤木 久
社外監査役	植田 益司

## 株式の状況

(2020年9月30日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株  
 発行済株式の総数 19,271,292株  
(注) 上記のうち42,596株を自己株式として保有しております。  
 株主数 10,077名  
 所有者別株式分布 19,271,292株



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日  
 基準日 毎年3月31日  
 定時株主総会 毎年6月  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関  
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
 〒541-8502  
 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 ☎️ 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所  
 公告の方法 電子公告により行う  
 公告掲載URL  
<https://www.daiwabo-holdings.com/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

## ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。

各詳細につきましては、当社ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.daiwabo-holdings.com/>

会社案内ビデオ



グループ広報誌  
DAIWABO HOLDINGS  
Digest



Corporate  
Profile 2020



IR・投資家情報

個人株主・投資家の皆様へ（5分でわかるダイワボウグループ）  
中期経営計画／業績・財務  
IRライブラリ／株式情報  
IRカレンダー／IRニュース  
IRポリシー／よくあるご質問  
電子公告

ITインフラ流通事業／繊維事業  
産業機械事業

事業紹介

サステナビリティ

環境活動／社会活動  
コーポレートガバナンス  
ISO取得状況



ご挨拶／グループ理念体系  
会社概要／役員一覧  
沿革／グループ広報誌

会社情報



UD FONT

ダイワボウホールディングス株式会社